

**複写連HP URL**  
[fukusyaren.or.jp/](http://fukusyaren.or.jp/)  
**401k HP URL**  
[fukusya401k.jp](http://fukusya401k.jp)

# 複写連だより

日本複写産業協同組合連合会  
 〒105-0011 東京都芝公園1-7-8  
 ITビル4階 電話03(5402)6167  
 FAX03(5402)1088  
 e-mail  
[fukusya-2948@tuba.ocn.ne.jp](mailto:fukusya-2948@tuba.ocn.ne.jp)  
 URL <http://www.fukusyaren.or.jp/>

## PODテキスト 作製検討中!

日本複写産業協同組合連合会では、現在、次世代戦略委員会の中で、業界における新人教育また中級レベルへのポトムアップを目指すPOD関連テキストの作製を検討しています。

「複写加工システムハンドブック」が改訂されてから既に15年、その補訂版が出されてから8年が経過し、その間デジタル化への業務の転換が進んでいます。従って業務の内容にも、既に大きな変化がもたらされています。それにより従来からの作業の手法もかなり異なるものとなってまいりました。業界の作業の指針となるべく、新しい内容を網羅したテキストの出現が期待されているところです。

しかし、その内容の充実が求められていることから、多方面から精査する必要もあります。

また業界向けとはいえ、関連するメーカー各社、また一般のユーザーの方々も利用できる案内書が待望されています。

従来の「複写加工ハンドブック」は業界人向けに作成された経緯がありましたが、そのような狭義の内容ではなく、広く世の中に配布できるテキストの販売に向かって準備する必要を痛感しています。

このようなテキストが作製されることにより、業界の中で働く方以外にも、PODという実務の本質を理解して戴くことで、業界が目指す新市場の創成という目標に大きく近づくことが可能と考えています。

現在、次世代委員会と特別賛助会員であるキャノンマー

ケテイングジャパン株式会社、富士ゼロックス株式会社、リコージャパン株式会社の各社担当委員のご協力を得、さらに経験豊富な出版社にも協力を依頼し、このプロジェクトを推進していく予定です。

このテキストの完成後、全国を縦断する形で研修教育を徹底し、浸透を図ることにより、その成果をチェックできる検定制度への発展を期し、タイムスケジュールの構築を進めていく所存です。

まずは、業界の中でのご理解を得る事が先決であり、皆様には順次進捗状況をお知らせしてまいります。

また、編集の段階では各方面からお手伝いを戴くことにもなろうかと考えていますので是非ともご協力を戴きたいと存じます。

## 日本複写産業 協同組合連合会 理事会・総会日程

日本複写産業協同組合連合会の平成25年度総会・理事会の日程は、平成25年6月27日(木)曜日、東京都港区浜松町貿易センタービル東京会館で開催されることになりました。ご参加頂く各組合理事長並びに理事役員の方々には万障お繰り合わせのうえ、ご出席をお願い申し上げますよう日程の調整をお願いいたします。

## 401k DC 確定拠出制度関連 ニュース

日本複写産業協同組合連合会確定拠出委員会(小川裕士委員長)は、2月15日委員会を開催する。今回の委員会では、次年度401k委員会の指針作成を討議する予定となっている



小川委員長

す。平成24年度に決定されたマッチング拠出制度の導入により加入者が事業主掛け金の範囲内での自己資金の積立が可能となったことで、税制上非常にメリットのある貯蓄や運用ができることになり、加入各社においても今後導入する企業が増加されることが予測されます。

また、昨年の12月以降、上向きとなった株価の推移を見ながら、スイッチングの機会を捉え、多少なりとも401k制度の運用には期待がもたれているところと見られます。

また、加入員の減少も続くことから次年度は加入促進にも力を入れていくことを委員会として考えているものです。

## 会長のひとり言

暮れから新年に向け、挨拶廻りや、賀詞交換会など何かと忙しい1か月でした。来賓方々のご挨拶を聞いていると例年になく、景気の良い話が飛び出していました。

但し、それには大変大きな願望も含まれているなどとも思った次第です。政権が変わって1か月、それ程、世の中が大きく変わるわけではないと思いますが、国際的なスポーツで日本選手が頑張ると国民が何となく元気になる、そんなムードかも知れないですね。

円の価格もあつという間に1ドル90円となり、適正価格は100円と公言する内閣顧問もいるようです。為替とはあまり関係のない立ち位置にいる私たちの商売では、どちらでも良いのですが、このようなトレンドが続く、相乗効果で日本が元気になるといことな

ら大歓迎です。国民の細やかな願いの中に、株価がもう少し上がり少し損失が減ったという気分が美味しいものが食べられるとちょっと嬉しいと思う今日この頃です。(会長)

## メーカー最新情報 このコーナーでは 賛助会員各社の 最新情報をお知らせします

### 操作性・生産性・環境性能を 向上したデジタルモノクロ複合機 「RICOH MP 1601/1301 シリーズ」を新発売

2013年1月16日  
株式会社リコー(社長執行役員:近藤史朗)は、デジタルモノクロ複合機の新製品として「RICOH MP 1601/1301シリーズ」の2シリーズ4モデルを発売します。

新製品は、2008年5月に発売した「imagic MP 1600/1300シリーズ」の後継機種で、操作部には新たに4.3インチのフルカラー液晶タッチパネルを採用するなどし、操作性を向上しています。また、全モデルに両面印刷機能を標準搭載し、生産性も向上しました。さらに、環境負荷低減に配慮した省エネ設計により、標準消費電力量(TEC)\*1は従来機と比べて約60%削減\*2しました。この他にも、カラーネットワークスキャナーの搭載、各種ソリューションとの連携強化などにより、お客様の業務の効率化に貢献します。これらの特徴を持ちながら省スペースを実現することで、個人事務所や小規模事業所をはじめ大規模な事業所の入出力分散機としても拡販してまいります。\*1 国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値。

\*2 新製品「RICOH MP 1601 SP F」と従来機「imagic MP 1600



SPF」を比較した場合。  
標準価格(消費税別)連続コピー/プリント速度16枚/分(A4ヨコ)  
製品名RICOH MP1601SP688,000円、RICOH MP1601SPF 798,000円

標準価格(消費税別)連続コピー/プリント速度13枚/分(A4ヨコ)  
RICOH MP1301SP578,000円 RICOH MP1301 SPF678,000円、発売日 2013年2月4日、月販台数1,000台  
詳細はPDFをご覧ください。

### モバイルワークを支えるソリューション・サービスで業務効率化・意思決定の迅速化に貢献「価値あるコミュニケーション」の実現に向けてオフィス、モバイル、パブリックプリントをシームレスにつなぐ

2013年1月16日

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社(本社:東京都港区、社長:山本 忠人)は、モバイルワークを支えるソリューション・サービスの一環として、タブレット端末向けの新しいアプリケーションソフトウェアや外出先での文書印刷を実現するサービスを、1月25日から順次提供いたします。

モバイル環境でのドキュメントハンドリングを支援するアプリケーションソフトウェア「モバイル統合アプリケーション for iOS」で取り込んだ文書などの閲覧・編集・印刷を統合的に行える操作環境を提供し、クラウドストレージサービス「Working Folder」との連携によって、簡単にかつ高いセキュリティ環境の下で社内外との情報共有が可能となります。また、「Working Folder」を「DocuWorks注1ドキュメントトレイ オプション」と連携させることで、お客様の社内外をつないだワークフローにもとづいたドキュメントハンドリング環境が容

易に構築できます。

さらに、自治体等に設置されているデジタル複合機からの出力サービス「パブリックプリントサービス」とつなげて外出先でのプリントニーズにも対応できるようにすることで、オフィス、モバイル、パブリックプリントをシームレスに連携させ、お客様が「欲しい情報を、欲しい時に、欲しい形で活用」できる「価値あるコミュニケーション」の実現を支援していきます。

#### ◆iPadでのより効率的なドキュメントハンドリングを支援

モバイル環境でのドキュメントハンドリングを支援するアプリケーションソフトウェア「モバイル統合アプリケーション for iOS」を、1月30日より販売開始いたします。

「モバイル統合アプリケーション for iOS」は、複合機でスキャンした文書やiPadで撮影した画像をアプリケーションに直接取り込み、取り込んだコンテンツを表示・編集し、複合機からのプリントや、メールでの送信などの操作がワンストップで行えるアプリケーションソフトウェアです。文書などの取り込み、編集、サーバーへの格納、出力、メール送信など、モバイル環境で要求されるドキュメントハンドリングの機能を統合することで、これまで煩雑だったさまざまな機能を容易に操作できるようになりました。

#### ◆使いやすさを追求したユーザーインターフェイスでモバイルワークをサポート

視認性の高い文書のサムネイル表示や、ドラッグ&ドロップ操作でのファイルの移動・コピーなど、パソコン上でのユーザーインターフェイスをタブレット端末上で再現し、フリック操作でのページめくりなどの直観的な操作を実現しました。また、フォルダーを作成して用途別にファイルを整理することもできます。

#### ◆画像ファイルや文書の編集機能に対応

iPadに取り込んだPDF文書や画像ファイルに対し、手書き文字の書き込みや、マーカーラインを引くことができます。

ファイルにコメントを入れて保存したり、メール送信して修正を指示したりといった使い方が可能です。DocuWorks注1文書については、DocuWorks Viewer Light for iPhone / iPadと連携することで、文書の閲覧や付箋などのアノテーションを使った編集注2を行うことができます。

#### ◆複合機との連携で、オフィスでの紙出力や紙文書の電子化を実現

iPadに保存してある文書ファイルを、オフィス内のデジタル複合機に出力できます。また、紙文書をデジタル複合機でスキャンし、電子化してiPadに取り込むことも可能です。紙文書と電子ファイル、どちらも取り扱うことができます。

#### ◆文書管理システムやクラウドストレージとの連携で、場所を選ばない働き方を支援

文書管理システム「DocuShare」(ドキュシェア)や、クラウドストレージサービス「Working Folder」(ワーキングフォルダー)との連携機能を提供。外出前に社内の「DocuShare」サーバーから必要な文書を取り出し、外出先で「Working Folder」に接続して社内外との文書の受け渡しをすることで、特定の場所に縛られることのないモバイルワークによる情報共有を実現し、迅速な意思決定を支援します。

注1:パソコン上で電子文書とスキャンした紙文書を一元管理・活用できるドキュメントハンドリング・ソフトウェア  
注2:DocuWorks文書の編集は、有償オプションの購入が必要です。

#### ◆さらなる情報共有・活用に向けたクラウドサービスの強化

すでに提供しているクラウドストレージサービス「Working Folder」の機能拡大対応と、「Working Folder」との連携機能を追加した「DocuWorks注3ドキュメントトレイ オプション」の最新バージョンを1月25日より提供開始いたします。

注3:パソコン上で電子文書とスキャンした紙文書を一元管理・活用できるドキュメント

ハンドリング・ソフトウェア  
◆「DocuWorksドキュメントトレイ オプション」は、文書トレイで電子文書の受け渡しが直感的かつスムーズに行えるDocuWorksのオプションソフトウェアです。「Working Folder」との連携では、デスクトップ上のDocuWorks文書トレイから「Working Folder」上のフォルダーへのアクセスができるので、社内だけでなく社外の登録したメンバー間で文書トレイによる文書の受け渡しが可能となり、取引先も含めたドキュメントワークフローの可視化、スピードアップが実現できます。

また、「Working Folder」の機能拡大では、安全なアクセス環境を構築する観点から、モバイル機器からのアクセス制限の設定を可能としました(Android・端末のみ)。これにより、従来のIPアドレス制限によるアクセス制限と併せ、お客様のセキュリティニーズに応じたアクセスコントロールが可能となります。

#### ◆外出先でのプリントニーズ対応を強化

オフィスとモバイル環境のシームレス化と外出先での文書プリントニーズへの対応を強化するため「パブリックプリントサービス」ならびに専用のデジタルカラー複合機シリーズ注4を、2月11日から販売開始し順次サービス展開いたします。

◆「パブリックプリントサービス」は、オフィスや外出先のPCまたはモバイル端末注5で出力したい文書注6をクラウドのサーバーにアップロードすることで、自治体、大学、店舗、ホテル、カフェなど公共の場に設置された専用のデジタルカラー複合機注4から印刷を可能にするサービスです。

◆プリント料金の支払いには複合機に接続されたコインキットまたは交通系ICカード注7が利用可能です。また、クラウドストレージサービス「Working Folder」と連携することで、よく使う文書を事前に「Working Folder」で共有し外出先での印刷も可能となるなど、電子文書の共有のみならず、必



要に応じた紙文書の出力環境をさらに拡大していきます。

◆モバイルワーカーがお客様への見積書や資料の提出など、自社に戻ることなく文書を作成し印刷・提出することも可能となり、お客様への訪問機会の拡大や直行直帰等による業務効率化を支援します。

注4:DocuCentre-IV C4475 A / C3375 A / C2275 A

注5:PCの対応ブラウザ: Windows ■ Internet Explorer ■ 8 / 9 / 10, Mozilla ■ Firefox ■ 17 / ESR 17, モバイル端末の対応OS: iPad / iPhone (iOS 5.0~6.0.1), Android ■ 2.2 / 2.3 / 4.0

注6:出力可能なフォーマットはDocuWorks、PDF、XML Paper Specification (XPS)、Microsoft Office 97-2010

注7:Suica、PASMOなどが利用可能。その他の交通系ICカードについては別途ホームページをご参照ください。

注記:「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。

注記:「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

注記:JR東日本Suica利用承認第67号、68号

注記:当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

注記:東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なくSuicaカードが交換されることがあります。

### CAD図面などの出力業務効率化とセキュリティ機能強化を実現

### 大判プリンター「imagePROGRAF iPF765/iPF760」など4機種を発売

2013年1月15日

キヤノンは、大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF (イメージプログラフィ)」シリーズの新製品として、CAD/GIS (地理情報システム) 図面向けの「iPF765/iPF760」と学校の教材/掲示物向けの「iPF750 School」、流通/小売業向けの「iPF750 Poster」の計4機種を、2013年1月21日より発売します。

imagePROGRAF iPF765/iPF760

imagePROGRAF iPF765価格 (税別) 64万8,000円 (発売日:2013年1月21日)

imagePROGRAF iPF760価格 (税別) 39万8,000円 (発売日:2013年1月21日)

imagePROGRAF iPF750 School オープン価格 (発売日:2013年1月21日)

imagePROGRAF iPF750 Poster 価格 (税別) 39万8,000円 (発売日:2013年1月21日)

この件に関するお問い合わせ先 キヤノンお客様相談センターTEL:050-555-90063

新製品「iPF765/iPF760」は、A0ノビ (36インチ) 用紙サイズに対応した5色モデルで、CAD/GIS図面やポスター、一般オフィスの掲示物など幅広い大判プリントニーズに対応します。A0サイズを約46秒※1で高速出力できることに加え、印刷中も交換可能なインクタンクを採用し、高い生産性を発揮します。新たに、図面出力ワークフローの効率化を実現するソフトウェアを用意し、管理者向けのセキュリティ機能を強化することで、建設、製造、官公庁、出力センター、大手企業などにおける大判プリント業務の効率性や利便性を向上します。

■ 簡単印刷とクラウド連携により図面出力ワークフローを効率化

新開発ソフトウェア「imagePROGRAF Direct Print & Share (DPS)」を用意し、PDFなど各ファイルをパソコンで開く際に、専用アプリケーションとプリンタードライバーを起動する必要がなく、DPSのプレビュー画面で内容を確認し、簡単に印刷できます。さらに異なる形式のファイル※2の印刷指示や用紙サイズ、給紙方法などの詳細印刷設定も一括で行えます。またDPSからクラウドサービス※3上にファイルをアップロード/ダウンロードでき、遠隔地や複数拠点にいる建築、設計会社およびその顧客らがモバイル端末などでも最新情報を即時に共有可能です。これらにより図面出力ワークフローの効率化を実現します。

### ■ 管理者向けのセキュリティ機能を強化

従来機種「iPF755/iPF750」

(2009年4月発売)に搭載している「管理者モード」をさらに強化し、ハードディスクドライブ内にあるファイルの再印刷や、インターフェース (USB、LAN) からプリンターへの不正アクセスを管理者が制限できます。これによりネットワーク環境でのプリンターの不正使用や情報漏えいの防止など、情報セキュリティの管理・運用を強力にサポートします。

※1普通紙、「速い」モードにおいて。

※2対応ファイル形式: PDF、JPEG、TIFF。

※3対応クラウドストレージ: Googleドライブ。(2013年1月現在)

### 【大判プリンターの市場動向】

CAD図面のカラー化需要の高まりと、従来の出力センターにおける図面の集中出力から建設、設計、製造など個々の現場での分散出力への変化が、昨今のCAD市場の傾向として挙げられます。

この傾向を受けて、大判インクジェットプリンターによるCAD図面の出力機会はますます高まりを見せてきています。また、業務の効率改善、無駄の排除、即時性などを背景に、従来は外部に委託していたポスターなどの大判出力物を内製化しようとするニーズも確実に広がりをを見せています。これらを背景に、大判インクジェットプリンター市場はこれまで堅調な拡大を続けています。2009年は金融危機により一時的に低迷したものの、その後は回復に向かっていきます。2011年の販売台数は世界で約23万1千台、国内で約2万6千台と推定しています。

(キヤノン調べ)

税理士大畑智弘氏の  
複写連会員用

OKIS通信

全国出張します!  
問合せ03-5524-1223

### 税制改正の見通し

税制改正大綱は

1月中旬に発表か!

自民党税制調査会によると、1月中旬にも平成25年度税制改正大綱をまとめ、3月末までの通常国会期間内に税制改正法の成立を目指すことになりそうです。例年は12月中旬には税制改正大綱が発表され、1月末頃に改正法案を国会に提出。3月末までに成立、4月1日施行という流れになりますが、本年度は衆院選の影響でスタートが大幅に遅れるだけでなく、与党である自民党・公明党との協議、更には昨年6月に可決された社会保障・税一体改革関連法の積み残し課題については自民・公明・民主の3党協議を行う必要もあり、3月末の法案成立へは非常にタイトなスケジュールとなります。

本年度の税制改正の主な焦点としては、消費税増税に伴う低所得者対策・住宅の取得対策、所得税・相続税の課税強化など、社会保障・税一体改革関連法の積み残し課題が中心になるかと思われます。

### ●消費税増税に伴う低所得者対策

消費税増税に伴う低所得者対策として、民主党政権では「給付付税額控除」の導入を検討していましたが、現政権は食料品など生活必需品の税率を低くする「軽減税率」の導入を目指しています。

### ●住宅の取得対策

前回平成9年の消費税増税時には国土交通省の建設着工統計によると持家のケースで前年比16.5万戸(▲25.66%)も減少しました。当時が急速な景気の悪化時期であったことを考慮しても、今回も少なからず需要の減少は予想されるところです。自民税調はこの対策として住宅ローン減税を3年程度延長する方針です。現行制度では平成25年入居の場合には最大200万円の控除額となりますが、これを消費税が増税される平成26年以降、最大300万円~500万円に引き上げる方向です。

### ●所得税増税

前政権では所得税住民税を合わせた最高税率を55%への

引き上げるとする法案が二度にわたり国会へ提出されていましたが、税・社会保障一体化法案成立時にも、「累進制をより強化する具体的な措置を検討し、来年度法制改正で実行する」として先送りされてきました。与党公明党は更に最高税率を60%に引き上げるように求めており、与党内でも調整が難航すると思われる。

### ●相続税増税

前政権では所得税増税同様、相続税についても「遺産にかかる基礎控除の引き下げ」、「最高税率の引き上げ」といった課税強化を打ち出してきました。方法はどうかあれ課税強化の流れは新政権でも引き継がれるのではないかと思います。また自民公明両党は、与党であった平成20年度、21年度において、「相続税の課税方式を各人の取得財産に応じ個別に相続税額を計算する方式である、いわゆる遺産取得課税方式に改めることを検討する」としており、まだこの方針が継続しているかどうか気になるところです。相続税課税の仕組みを根本から変えることであり、今までの常識が通用しなくなる可能性もあるためです。

オーキスでは引き続き税務に関する情報を提供してまいります。ご質問、ご相談などございましたらお気軽にお問い合わせください。(加藤)

## 助成金・補助金

### 助成金・補助金を活用

攻めの経営で業績アップ！  
この欄は、大変有益なお話なのでリコーホームページから抜粋してお伝えしています。

更新日：2013年1月21日  
今回は、期限の迫っている補助金については順次更新しています。

#### ◆実習型雇用支援事業

【全国】随時 雇用 月額10万円(6ヶ月)、実習型雇用終了後に一定期間正規に雇い入れると更に100万円

#### ◆雇用調整助成金

【全国】随時 雇用 改善  
・休業：休業手当相当額の2/3(上限あり)、支給限度日数は3年間で300日(休業及び教育訓練)

・教育訓練：賃金相当額の2/3(上限あり)左記金額に1人1日4,000円を加算

・出向：出向元で負担した賃金の2/3(上限あり)

#### ◆受給資格者創業支援助成金

【全国】随時 新事業雇用 創業後3か月以内に支払った経費の1/3以内、限度額150万円

#### ◆職場適応訓練費

【全国】随時 雇用 育成  
1人あたり月額24,000円(重度の障害者25,000円)、短期の職場適応訓練は、日額960円(重度の障害者1,000円)、最大1年間

#### ◆中小企業緊急雇用安定助成金

【全国】随時 雇用 育成  
・休業：休業手当相当額の4/5(上限あり)、支給限度日数は3年間で300日(休業及び教育訓練)

・教育訓練：賃金相当額の4/5(上限あり)左記金額に1人1日6,000円を加算

・出向：出向元で負担した賃金の4/5(上限あり)

#### ◆高齢者雇用開発特別奨励金

【全国】随時 雇用 限度額90万円

#### ◆緊急就職支援者雇用開発助成金

【全国】随時 雇用 限度額45万円

#### ◆特定就職困難者雇用開発助成金

【全国】随時 開発 限度額240万円(大企業は100万円)

#### ◆試行雇用(トライアル雇用)奨励金

【全国】随時 雇用 対象労働者1人につき月額4万円、最大3ヶ月支給

#### ◆障害者初回雇用奨励金(ファースト・ステップ奨励金)

【全国】随時 雇用 対象労働者1人目を雇用した場合に限り、奨励金100万円を支給

#### ◆重度障害者等多数雇用施設設置等助成金

【全国】随時 雇用 対象経費の2/3以内、限度額1億円

#### ◆職場支援従事者配置助成金(職場支援パートナー配置助成金)

【全国】随時 雇用 対象労働者(短時間労働者以外)1人あたり月額3万円(中

小企業は4万円)を、支給対象期に分けて支給

#### ◆精神障害者雇用安定奨励金

【全国】随時 雇用 限度額180万円(精神障害者支援専門家1人につき)

#### ◆難治性疾患患者雇用開発助成金

【全国】随時 雇用 対象経費の1/4~1/3以内、限度額45万円

#### ◆発達障害者雇用開発助成金

【全国】随時 雇用 対象経費の1/4~1/3以内、限度額45万円

#### ◆ベンチャー企業成長支援ファンド

【東京都】新事業 その他 総額55億円のファンド

#### ◆研究アイデアの募集

【広島県】2013年01月25日(金)必着 新事業 その他 限度額100万円

#### ◆次世代・地域資源産業育成事業募集(平成24年度第3回)

【鳥取県】2013年01月25日(金)まで 新事業 開発 販路 対象経費の2/3~10/10以内、限度額1,000万円

#### ◆平成24年度スマートエネルギーシステム導入促進事業費補助金(スマートエネルギーシステム導入促進事業)

【全国】2013年01月31日(木)17時必着 エコ設備 対象経費の1/10~2/3以内

#### ◆モノづくり企業省エネ設備改修モデル補助金

【石川県】2013年01月31日(木)まで エコ設備 対象経費の1/2以内、限度額50万円

#### ◆あおもり農商工連携ファンド

【青森県】2013年01月31日(木)まで その他 対象経費の1/2~10/10以内、限度額500万円

#### ◆あおもり元気企業チャレンジ助成事業 平成25年度

【青森県】2013年01月31日(木)まで 新事業 開発 販路 対象経費の1/2~10/10以内、限度額500万円

#### ◆海外市場開拓支援事業費補助金

【和歌山県】2013年01月31日(木)必着 販路 対象経費の1/2以内、限度額100万円

#### ◆ふくいの逸品創造ファンド助成金

【福井県】2013年02月01日(金)必着 開発 販路 対象経費の1/2~2/3以内、限度額500万円

#### ◆平成25年度移住・交流による地域活性化支援事業

【全国】2013年02月01日(金)まで その他 限度額200万円

#### ◆あきた企業応援ファンド事業

【秋田県】2013年02月12日(火)まで 開発 販路 対象経費の1/2~2/3以内、限度額1,000万円

#### ◆平成25年度あいち中小企業応援ファンド助成事業

【愛知県】2013年02月15日(金)まで 新事業 その他 限度額8,000万円

#### ◆平成25年度共同研究推進事業研究課題募集

【愛知県】2013年02月27日(水)17時必着 開発 限度額700万円

#### ◆コンベンション開催資金助成

【東京都】2013年02月28日(木)まで その他対象経費の1/2以内、限度額1,000万円

#### ◆平成24年度「三重県新エネルギー活用システム普及促進事業」補助金

【三重県】2013年02月28日(木)まで エコ 対象経費の1/10以内、限度額35万円

#### ◆次世代型熱利用設備導入緊急対策事業

【全国】2013年03月29日(金)17時必着 エコ設備 対象経費の1/2又は1/3以内

## 所属員の動向

◆(異動は複写連事務局まで)

### 会長行動記録・予定

2013.1.25  
メーカー代表者・役員訪問2社  
2013.2.5  
I MN協同組合情報交換会  
2013.2.8  
西日本情報マネジメント協会・九州イメージ情報業連合会合同新年賀詞交歓会参加  
2013.2.14(木)  
複写連経営会議  
2013.2.14(木)  
複写連通常理事会開催  
2013.5.29(水)  
複写連決算理事会  
2013.5.29(水)  
近畿複写産業協同組合創設50周年記念行事出席  
2013.6.13(木)  
関東複写センター(協)総会  
2013.6.27(木)  
日本複写産業協同組合連合会理事会・総会